

# 紀勢本線新宮・白浜間の利用促進策について

## ～地域公共交通再構築調査事業を活用した特急「くろしお」号の増便実証実験を実施するとともに、利用促進策に取り組みます～

紀勢本線活性化促進協議会「新宮白浜区間部会」（以下、「部会」）では、和歌山県、沿線市町村、JR西日本和歌山支社、和歌山大学が協働して新宮・白浜間の利用促進に取り組んでいます。

2026年度の部会数値目標（別紙①参照）達成に向け、これまでにない利用促進策として、以下の取り組みを実施します。この機会にぜひ特急「くろしお」号をご利用ください。

**1. 特急「くろしお」増便実証実験（「地域公共交通再構築調査事業（別紙②参照）」を活用）**  
現在、金曜・土・日・祝日を中心に運行している以下の特急「くろしお」号を繁忙期同様、平日の月～木にも運行し、毎日運行とします。

（1）実施期間 2025年11月4日（火）～2026年3月31日（火）まで

※2026年度の調査事業活用が可能となりましたら、期間延長をお知らせします。

（2）増便するくろしお号 ※平日の月～木に1日1往復（上下各1本）

【新大阪駅 → 白浜・新宮駅方面】※一部停車駅抜粋

列車名	新大阪発	和歌山発	白浜発	周参見発	串本発	古座発	太地発	紀伊勝浦発	新宮着
くろしお5号	9:28	10:35	12:01	12:22	12:56	13:05	13:23	13:30	13:53

【白浜・新宮駅 → 新大阪駅方面】※一部停車駅抜粋

列車名	新宮発	紀伊勝浦発	太地発	古座発	串本発	周参見発	白浜発	和歌山発	新大阪着
くろしお30号	15:04	15:21	15:28	15:49	15:57	16:29	16:56	18:20	19:21

※8月21日時点での平日の運行時刻であり、変更となる可能性があります。

なお、実証実験にあたっては、地域公共交通再構築調査事業（以下、「調査事業」とする）の主旨を踏まえ、地域交通の再構築を目的とした合意形成を図るための調査・実証とし、増便の効果検証や更なる効果的な利用促進策を検討・実施してまいります。

（第12回部会「くろしお増便実証事業における確認事項について」（別紙③参照））

## 2. WESTER ポイントバック

(新宮・白浜間を含む利用のみ対象、別紙④参照)

特急「くろしお」増便実証実験開始に合わせて、新宮・白浜間の特急停車駅から ICOCA を利用して乗車し、新宮・白浜駅間を利用するとともに ICOCA エリア内の駅で下車した方を対象に、運賃の 10%相当を WESTER ポイント（チャージ専用）で還元します。

<b>実施期間</b>	2025 年 11 月 4 日（火）～2025 年 12 月 31 日（水） ※上記期間に関わらず、予算に達し次第終了します	
<b>対象となる利用</b>	<b>乗車駅</b>	<b>降車駅</b>
	新宮 紀伊勝浦 太地 古座 串本 周参見	ICOCA が利用できるすべての駅
	白浜	紀伊富田～新宮間の各駅
<b>ご利用条件</b>	<p>ご利用前に WESTER ポイント（チャージ専用）サービスの利用登録（無料）の完了が必要です。</p> <p>※モバイル ICOCA / Apple Pay の ICOCA、SMART ICOCA は利用登録不要です（発行時に自動で利用登録されます）。</p> <p>※WESTER ポイント（チャージ専用）はご利用日の翌月中に還元します。</p> <p>※たまったポイントは、自動券売機などで ICOCA にチャージしていただき、列車のご利用やお買い物などにご利用いただけます（モバイル ICOCA / Apple Pay の ICOCA の場合、ICOCA アプリのご利用により、お持ちのスマートフォンでポイントチャージいただけます）。</p> <p>※その他、詳しい条件や注意事項については、別紙④をご覧ください。</p>	

※「ICOCA」「モバイル ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

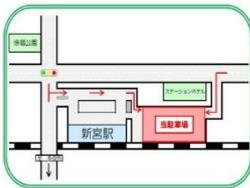
※Apple、Apple Pay、は、Apple Inc.の登録商標です。

## 3. 利用促進補助の実施（教育旅行誘致事業、校外学習支援事業）※継続実施

新宮・白浜間を利用し、校外学習や教育旅行、スポーツ合宿を実施する学生団体に対し、JR による団体割引後の運賃及び特急料金のうち、新宮・白浜間の運賃等に相当する額を全額補助します。（[新宮市 HP「令和 7 年度新宮白浜区間旅客鉄道利用促進事業」](#)参照）

## 4. 新宮駅、白浜駅駐車場料金の無償化

新宮市、白浜町は、利用促進策の一環として、新宮駅、白浜駅前の駐車場料金無償化の実証実験を行います。（詳細は別途お知らせします。）

	新宮駅前駐車場	白浜駅前駐車場
<b>実証期間</b>	2025 年 11 月～2026 年 3 月	2025 年 11 月～2026 年 3 月
<b>料金</b> ※実証期間中に限る	無料	無料
<b>ご利用条件</b>	特急利用時、 新宮駅改札口に申し出	白浜以南の特急利用時、 白浜駅改札口に申し出
<b>案内地図</b>		

## 5. その他の取り組み

その他の取り組みについては、新宮市 HP をご確認ください。

- ・ 新宮白浜区間部会における令和7年度の取り組みについて（事務局）
- ・ 沿線市町村の令和7年度の取り組みについて（各市町村）
- ・ 和歌山県の令和7年度の取り組みについて

（参考①）くろしお 60 周年記念の取り組み

JR 西日本 HP : [https://www.westjr.co.jp/press/article/2025/08/page\\_28744.html](https://www.westjr.co.jp/press/article/2025/08/page_28744.html)

（参考②）紀勢本線活性化促進協議会新宮白浜区間部会（HP は [こちら](#)）

紀勢本線新宮・白浜間の活性化に関する協議・調整および検討を行うことを目的として 2022 年 10 月に組織。部会員は以下の通り。

- ・ 新宮市、白浜町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町の  
交通行政担当課長
- ・ 和歌山県地域振興部政策局総合交通政策課長
- ・ 和歌山県西牟婁振興局地域づくり部地域づくり課長
- ・ 和歌山県東牟婁振興局地域づくり部地域づくり課長
- ・ 西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社課長
- ・ 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹
- ・ 近畿運輸局鉄道行政担当（オブザーバー）

（参考③）地域公共交通再構築調査事業

[国土交通省 HP リンク](#)

2024年8月23日

紀勢本線活性化促進協議会

新宮白浜区間部会

## 新宮白浜区間部会での利用促進の数値目標

新宮白浜区間部会は数値目標を設定し、沿線住民の皆様にも公表することにより鉄道利用への関心を高めるとともに、新宮白浜間の利用促進を図る。

数値目標は、鉄道としての大量輸送が発揮されていたとされる時期の輸送密度を達成するためのものとする。

全列車の乗車人員には注視をしつつ、目標達成のための一つの指標として特急列車の乗車人員を数値目標化し、各特急停車駅に設定する。

### ○数値目標

#### 各駅の特急列車の乗車人員（2026年度1日あたり）

新宮駅：240人(和歌山方面のみ)、紀伊勝浦駅：450人、太地駅：20人

古座駅：30人、串本駅：210人、周参見駅：50人、白浜駅：40人(新宮方面のみ)

#### ※目標値設定の算出方法（各駅の特急列車乗車人員は発売実績を基に算出）

1. 輸送密度 2,000 人／日に近い、2007 年度数値の 1 の位を切り上げ、利用が一桁の場合は四捨五入
2. 2007 年度より特急列車のご利用が上昇している太地は、特急列車の乗車人員のみコロナ前の 2019 年度の数値を利用

年度	2026				2007				2019				2023			
	輸送密度				1,927				1,085				935			
乗車人員 (1日あたり)	全列車 ※1	特急列車			全列車 ※1	特急列車			全列車 ※1	特急列車			全列車 ※1	特急列車		
		下り※2	上り※2	計		下り※2	上り※2	計		下り※2	上り※2	計		下り※2	上り※2	計
新宮※3	1,290		240	240	1,285		232	232	920		139	139	828		105	105
紀伊勝浦※3	720	140	310	450	711	140	307	447	342	76	118	194	324	77	108	185
太地	160	0	20	20	154	0	6	6	99	1	17	18	91	0	13	13
古座	260	0	30	30	253	1	28	29	124	1	19	20	107	0	13	13
串本	450	20	190	210	441	14	185	199	328	5	79	84	250	3	63	66
周参見	200	0	50	50	195	3	47	50	114	1	17	18	98	1	11	12
白浜	910	40		40	906	39		39	708	18		18	626	16		16
計	3,990	200	840	1,040	3,945	197	805	1,002	2,635	102	389	491	2,324	97	313	410

※1 全列車は各駅の普通電車及び特急電車を含む乗車人員  
乗車人員の2倍が乗降人員

※2 下りは新宮方面行き、上りは和歌山方面行き

※3 新宮、紀伊勝浦は南紀号を含む

- 危機的状況にあるローカル鉄道について、国も主体的に関与しながら、鉄道事業者と沿線自治体の共創を促し、単なる現状維持ではなく、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進していくため、関係者の合意形成に向けた支援を行う。

## 地域公共交通再構築調査事業

ローカル鉄道に係る公共交通再構築に向けた鉄道事業者、沿線自治体等の関係者が参画する協議の場において、廃止ありき、存続ありきといった前提を置かず、ファクトとデータに基づく議論を重ね、必要な場合には対策案の実効性を検証するため実証事業を実施し、効果的な方針を決定するという合意形成のプロセスを支援。

【補助対象事業者】 協議会又は自治体

【補助率】 1 / 2

【支援対象】

○ 協議会の運営

- ・協議会の開催に係る費用

○ 線区評価のための調査事業の支援

- ・パーソントリップ調査の活用
- ・ビックデータ分析
- ・クロスセクター分析 等

○ 実証事業の支援

- ・対策案の実効性を検証するための、期間を限定して行う以下の取組

鉄道輸送の高度化に向けた検証

(事業例)

- ・増便、接続改善、ダイヤ変更
- ・現行の技術・安全規制の検証
- ・サイクルトレインの実施
- ・駅、駅前広場等の新たな利活用
- ・季節運賃・旅行者向け運賃の導入
- ・観光列車等の借り入れ、持ち込み
- ・チケットレスシステムの導入 等

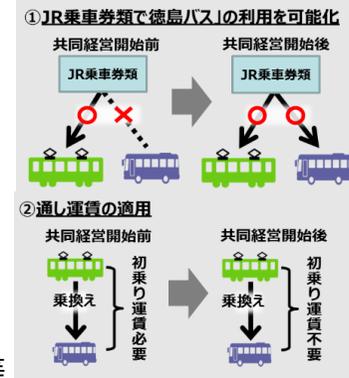


バスとの共同運行やバス転換の検証

(事業例)

- ・並行路線バスとの共同運行
- ・鉄道とバスの乗り換え時における共通・通し運賃の導入
- ・一部又は全部の区間における、バス等の新たな輸送サービスの導入

JR四国と徳島バスの事例



等

## 特急くろしお増便実証事業にかかる確認事項（案）

資料③-2

令和7年4月30日  
新宮白浜区間部会  
JR西日本和歌山支社

当部会では紀勢本線活性化に関する検討議論を重ね、令和8年度末目標値を設定のうえ、部会・自治体・事業者が利用促進の取組みを進めることとした。今回、これまでの経緯を振り返るとともに、特急くろしお増便実証実験ならびに目標値に対する到達度の検証等に関して、下記の内容を確認する。

## 記

1. 増便事業は、曜日を限定して運行している特急くろしおを繁忙期同様臨時的に運行するものである。  
なお、増便事業は令和7年11月1日から開始することを予定し、最長でも令和9年3月にはこれを終了することとする。  
JR西日本の重大な責めに帰すべきでない事由によって、また国による「地域公共交通再構築調査事業」を活用が不可能になった場合等は、運行期間内であっても、JR西日本の判断で増便事業を休止する場合がある。
2. 増便事業は、本部会を実施主体として国による「地域公共交通再構築調査事業」を活用することとし、本部会では「これまでにない利用促進」の四半期毎に目標に対する到達度等を振り返ることによって、令和9年3月末時点における実効性を検証することとする。
3. 増便事業に合わせて、本部会の沿線自治体構成員はバス、タクシー等の二次交通整備、接続改善を行うこととし、増便事業の効果促進による「これまでにない利用促進」に取り組むこととする。
4. 本部会を実施主体とする増便事業に要する費用は、第2項における国による調査事業の補助金とJR西日本が負担することにより措置するものとする。  
なお、JR西日本が負担するにあたっては、調査事業の主旨をふまえ、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築を促進していくため、相互に真摯に議論を行うことを本部会として合意されるものとする。

以上

## ○用語の定義

「これまでにない利用促進」とは、目標値が対象としている令和7、8年度に実施する部会による利用促進等の取組みを示す。

【参考】特急くろしお増便実証事業に関するこれまでの経緯

令和6年2月20日 第6回新宮白浜部会 ・目標達成のための取組みとして、JRより「和歌山方面からの日帰りの選択肢が増える昼間の列車の毎日運転」ができないか検討している旨伝達
令和6年7月19日 第8回新宮白浜部会※利用促進の目標値を公表 ・部会として以下2点を公表 (1) 令和7年度実施の実証事業の一環として、JRにて特急くろしおの増便実証を検討 (2) 前項に対しては地域公共交通再構築調査事業を活用予定
令和6年8月21日 第9回新宮白浜区間部会 ・部会で2案（普通列車を含む全列車乗車人員も目標に掲げる、特急列車乗車人員のみを目標とする）を議論し、特急列車乗車人員を目標とし、全列車乗車人員は注視することで合意。
令和6年10月25日 第10回新宮白浜部会 ・JRより、令和8年度の目標達成に向けた利用促進策として、曜日を限定して運行している特急くろしおを繁忙期同様、令和7年11月から令和9年3月までの期間で毎日運転化を実施する方針を伝達 ・県及び市町村より、毎日運転化を令和7年度初から実施できないことで目標値達成が困難になることを懸念する意見が出される
令和7年4月30日（本日・提案） 第12回新宮白浜部会 ・令和7年度の利用促進の取組みを公表、本確認事項を決議

# 10% 相当 P 還元

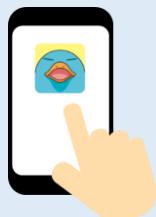
普通運賃をWESTERポイントで

期間：2025年11月4日(火)～12月31日(水)

※予算上限に達し次第終了します

## STEP1

乗車当日までにJR西日本の「WESTERポイント(チャージ専用)サービス」の利用登録(無料)を完了する



※モバイルICOCA / Apple PayのICOCA、SMART ICOCAは利用登録不要

「WESTER」アプリやICOCAエリア内の紺色またはピンク色の券売機などで利用登録が可能です。

サービス利用登録方法の詳細はこちら→



※携帯電話のご利用マナーにご協力ください

## STEP2

白浜～新宮駅間の対象駅から乗車

対象駅… ★

## STEP3

白浜～新宮間の対象区間を含む区間に利用

対象区間… —



## 付与方法

利用日の翌月6日以降に駅の自動券売機などでポイントをチャージしてください。

※ポイントが貯まる条件など詳しくは「ICOCA」を検索してください ※モバイルICOCAなどはICOCAアプリでスマホからポイントチャージが可能

## その他注意事項

- 一度利用登録をされたICOCAは新たな利用登録は不要です。ただし、25 か月以上チャージまたはポイントチャージがない場合は、利用登録が解除されますので、再度利用登録が必要です(モバイルICOCA / Apple PayのICOCA、SMART ICOCAの利用登録は解除されません)。解除期間中のICOCAのご利用はポイント計算の対象とはなりませんのでご注意ください。
- 乗車駅では、必ず自動改札機をICOCAでご入場ください。きっぷでご乗車された場合は、本事業の対象外となります。
- ICOCAエリア外へのご利用およびICOCAエリア以外の区間を通過してのご利用はできません。また、営業キロ200km を超えてのご利用はできません(一部例外があります。)
- 降車駅では、必ず自動改札機をICOCAでご出場ください。
- のりこし精算機で精算し、出場証で出場されるとWESTERポイント(チャージ専用)サービスの対象外となります。(のりこし精算機でチャージして出陣いただく場合は対象となります。)
- ICOCA定期券でご利用の場合、その定期券区間外(乗車駅～定期券区間内の駅または定期区間内の駅～下車駅)の運賃が本事業のWESTERポイント還元の対象となります(なお、定期券区間外となる区間の運賃より乗車駅から下車駅までの通し運賃の方が安価となる場合は、乗車駅から下車駅までの運賃が対象となります)。
- ICOCA定期券での自動精算について、詳しくは JR おでかけネットをご覧ください。
- 0:00～最終列車のご利用は、前日のご利用分としてWESTERポイント(チャージ専用)を計算します。